

令和6年度 児童発達支援ゆう 自己評価表

	内 容	は い	い い え
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	5
2	職員の配置数は適切であるか センター基準：児発菅1名 児4名に対しスタッフ1名	11	2
3	生活空間は、本人にわかりやすく整理された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	5
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	7
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	2
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対してセンターの評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	1
7	センター向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、センターの会報やホームページ等で公開しているか	13	0
8	第三者による外部評価を行うことが望ましいとされていることを知っていますか。 ※福祉会としては、把握しており、今後検討していくこととなっています。	12	1
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	0
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	0
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	2
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	1
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	1
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	13	0
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	3
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	2
23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	12	1
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	1
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	1
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	1
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	2
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7
29	（自立支援）センターが、協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか ※小郡市・大刀洗・大野城は福祉会として参加している	13	0
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか	12	1
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	2
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	1
35	保護者同士の連携を支援しているか（保護者同士の連携する機会をつくる・保護者会等を開催する等）	13	0
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0

37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	0
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	0
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	0
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12	1
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12	1
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	1
45	ヒヤリハット事例を作成して事業所内で共有しているか	13	0
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	0
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	0
総評	一定数の「はい」との回答があるが「いいえ」とする職員がいる現状は、中途での新規採用スタッフへの業務に関して、支援内容に関する情報や目的等がしっかりと伝わっていない現状があることが要因と考える。会議やグループ、部門でのミーティング時等での全体周知等を進めて行く。職員数や部屋のスペースにおいても「いいえ」がある。法令に基づいた人員配置や部屋の広さの確保は行っているが、「見る力」が強いお子様、感覚面の配慮等でのエリアが必要なお子様が aumentando している事もあり一人一人に対応出来る様に職員間で工夫をし再構造化を行っている。また、職員の休みや出張等で不在時の他部門との協力体制を強化しフォローできる様に進めて行くことで、職員だけでなくお子様の安心・安全な支援へとつながると考える。また、園舎の老朽化も含め働きやすい環境を建て替えに向けて意見交換を行いながら進めて行く。職員の障害特性の専門性の向上するために、研修や他部門との連携をより密に行うシステムの構築をすすめ、よりご利用いただくお子様、ご家族様への支援の充実に努めていく。		